

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課情報係
(☎ 611-2724)



高橋町長から一人ひとりにメダルが授与され
固い握手を交わす授与者

矢巾っ子のさらなる飛躍を祈る 顕彰メダル授与と論文作文表彰

矢巾町児童生徒顕彰メダル授与式が2月17日、田園ホールで行われました。今年度スポーツや文化活動で優秀な成績を収めた、個人や団体あわせて143人の児童生徒に、高橋昌造町長がメダルを授与して、榮譽をたたえました。

また、同日「青少年の論文・作文」(矢巾町青少年健全育成町民会議主催)の表彰式が行われ、応募総数1475点の中から選ばれた最優秀賞と優秀賞の受賞者17人に、小笠原栄利子会長から表彰状と記念品が贈呈されました。



多くの応募作品の中から選ばれた17人が登壇
小笠原会長から賞状と記念品が贈られました

たくさんスミをつけられて真っ黒になった人に記念品が贈られました



スミをつけ合い、お互いの顔が真っ黒に！

大盛況の奇祭「スミつけ祭り」 真っ黒な顔で無病息災を祈願

城内地区に四百数十年前から伝わる奇祭「スミつけ祭り」が2月4日、煙山の実相寺(晴山弘俊住職)裏の観音堂で行われました。

祭りには町内外から約600人が参加。晴山住職らによる祈願の後、積み上げられたスギの枝に火がつけられ、夜空高く上がった炎の勢いが弱まるというよいよスタート。参加者は手に炭をつけて、互いの顔につけ合い、会場は悲鳴と笑い声に包まれました。

炭をつけられた人は、一年間無病息災で過ごせるといわれ、参加者は互いの真っ黒な顔を見て笑い合い、一年の幸せを祈りました。



親と子の優しい関係を築く研修会

1月27日、保護者が子どもとのかかわり方を学ぶ「ペアレント・トレーニング」の研修会が町公民館で開催され120人が参加。実演を交えながら、子どもの発達を促しながら楽しく子育てできるコツを学びました。



郷土の食文化を学ぶ料理教室

「食の匠による矢巾町郷土料理教室」が2月7日に行われ18人が参加。岩手県「食の匠」に認定されている田中館節子さん（北郡山）を講師に、地域の食材を使って赤飯や「すあま」など4品を作り、地域伝統の食文化を学びました。



ポスターで犯罪予防を呼びかけ

煙山小学校6年生による防犯ポスターコンクール（矢巾地域安全センター連絡協議会主催）が、2月9日から21日までショッピングモールアルコで開催。110点の力作が展示され、買い物客に犯罪防止を呼びかけました。



1本のストックで華麗に滑走する高橋幸平さん（2016年2月撮影）

下北行政区の高橋幸平さん（盛岡農業高校1年）が、3月5日から長野県で開催される障害者スキーの国際大会「IPCアルペンスキーワールドカップ白馬」に、日本チームの次世代育成選手（立位クラスLW9-2）として出場します。

「自分の思いどおりに滑れることがとても楽しい」と笑顔で話す高橋さん。「世界の選手たちの実力を間近で見て今後に活かしたい」と決意を述べ、「将来はパラリンピックなど世界で活躍できる選手を目指します」と目を輝かせていました。

目指せ！パラリンピック
高橋幸平さんが国際大会に出場



岩手県警察本部の岩野公伸さんらが、「家族を交通事故から守るためには」と題し講演

矢巾町女性教育連絡協議会主催の「女性のつどい」が2月11日、町公民館で開催され、84人が参加しました。つどいでは、岩手県警察本部の岩野公伸さんと小原貴子さんが、交通事故が身近な危険であることや、家族を交通事故から守るために女性が果たす役割について講演。その後、参加者はシミュレーターで車道を横断するときの危険や注意点を実際に体験できるとともに、地域や家庭で実践できる交通安全についての意見交換を行いました。

家族を交通事故から守るために
「女性のつどい」で意見交換